

TYFO® F コーティング

説明

TYFO F は、1液型コーティング剤で、TYFO F上に施工し、‘仕上げ塗り’として、又、耐火コーティング能力を更に向上させることができます。TYFO FC と TYFO F は、それぞれがシステムの一部であり、共に使用することにより、構造体の火災等級の要求を満たすよう意図されています。(TYFO FCデータシート参照)。

使用方法

防火バリアのために、TYFO FC上に施工する必要があります。この材料の適切な施工により、火災等級を向上させることが可能です。このシステム (TYFO FC、及び、TYFO F) は、U.L.の火災等級を取得しています。

使用面積

3.78Lで約 7m² から 9.2m²。施工時の気温により、塗膜量が異なります。

包装

TYFO F は、18.75m² (運輸省)認可の搬送容器で梱包されます。

保存期間

1年

保存条件

容器の蓋は密封状態を保ってください。長期保存した材料は、沈殿状態にある成分を再懸濁するために、TYFO ミキサーで混合してください。

安全性の証明

- 要求に応じ、梱包法に準じたラベルをお付けいたします。
- 化学物質等安全データシート(MSDS)は、要求に応じて提出いたします。
- ASTM D-2369 で 0 % V.O.C. レベルを有します。

TYFO® Fの使用法

施工

TYFO Systemは、ファイブ社で研修を受けた者と、認定アプリケーションにより施工されます。施工は、ファイブ社品質管理に厳密に準拠しております。

施工前ケレン(表面処理)

必要とされるケレンは、強度設計されているエレメントのタイプに大きく依存しています。通常、その表面は、クリーン(清浄)で、乾燥状態であり、突起・段差または、空洞 (TYFO 複合材が剥がれる恐れがある)を避け、平滑状態が要求されています。全周をカバーできる柱表面は、箒で掃除するだけで十分です。連続的にカバーできない表面 (壁、梁、床スラブ等) は、サンドブラスト、グラインダーがけ、もしくは承認された方法で下地処理されなければなりません。メカニカルアンカーが、設計仕様として含まれることもあります。ファイブ社エンジニアリングスタッフは、プロジェクトの要求に基づく適切な仕様、及び、詳細を提供します。

施工方法

この材料は十分な混合必要とされていますが、一定期間保存されていた場合は、特にそうすべきです。TYFO FCの施工後72時間以内に施工してください。72時間以上経過したならば、施工表面をやすりかけたり、サンドブラストで清掃するなどの処理が必要となります。もし、TYFO FCの表面が清掃されていなければ、粘着性やそれに伴い、火災等級を保証できません。

制限

エポキシ樹脂塗布の使用最低温度は、4℃です。希釈しないでください。溶媒が、適切な硬化を妨害します。

注意

応急手当

皮膚にかけた場合は、石けんと水によって完全に洗ってください。眼に入った場合は速やかに多量の水で洗い、医者にご相談ください。呼吸困難の場合は、換気し、新鮮空気を取り入れてください。衣類は再使用前に十分に洗濯してください。

清掃

道具は、水で洗浄してください。使用直後に洗浄してください。乾燥、硬化した材料は除去困難です。汚れた水を地面に注ぎ出し、適当な吸収剤で乾かしてから、所定の廃棄物コンテナに入れて処分してください。

出荷ラベル記載事項

- 該当する場合は修正を加えて、米国仕様番号を記載
- 成分表示
- 該当する場合、型式
- 製造業者名
- 製造年月日
- バッチ名
- ロットの番号
- 使用法
- 法によって義務づけられている警告、または、事前注意事項

しっかり閉まる容器に保存すること。
内服用ではありません。
詳しくは化学物質等安全データシート (MSDS) をご覧下さい。
子供の手の届かない所に保管して下さい。
工業用のみです。

エポキシコンポーネント仕様

色	ベージュ液体
ポットライフ	液体で8時間



ダイナテック株式会社

〒738-0204 広島県廿日市市河津原65-13

Tel:082-920-4038 Fax:082-920-4039

www.dynatechno.com